

H21年7月7日現在

漁船漁業構造改革総合対策事業の進捗状況について

I. 中央プロジェクト本部

H19年4月、事業主体として公募により(社)大日本水産会が決定され、同団体に漁船漁業改革推進集中プロジェクト中央本部が設置された

II. 地域プロジェクト進捗状況

部会を含む28地域における取り組みを支援。このうち、18件の改革計画を認定。8地域においては改革型漁船による実証事業を開始

1. 八戸地域（八戸漁業指導協会）

①大中小型まき網

◎コンセプト：新たなミニ船団（4隻→2隻、52名→33名）、燃油量削減、操業の合理化、冷凍サバの開発等

◎改革計画：H19年6月25日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年4月から開始

・事業実施者：青森県旋網漁業協同組合

・用 船：第八十三惣寶丸（網船・新船・329トン）＋運搬船（旧船・310トン）

②いか釣り、沖合底びき網、小型底びき網

2. 千葉県地域（千葉県水産振興公社）

沖合底びき網

◎コンセプト：漁船の小型化（50t～70t→19t）生産組合による協業化、活魚出荷の比率向上、漁獲物の直販等高付加価値化

◎改革計画：H20年2月15日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年6月から開始

・事業実施者：銚子市漁業協同組合

・用 船：富丸(19トン)

◎「漁船漁業再生事業」旧船のスクラップ H20年5月計画承認、平成20年9月実施済み

3. 北海道機船漁業地域（北海道機船漁業協同組合連合会）

沖合底びき網

(1) 室蘭地区

① 第1船目

◎コンセプト：省コスト共通船型、省人化、活魚出荷、鮮魚輸出等

◎改革計画：H19年9月19日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年9月から開始

- ・事業実施者：室蘭漁業協同組合
- ・用 船：第十一萬漁丸（140トﾝ）

② 第2船目

◎コンセプト：省コスト共通船型、省人化、操業共同化、コンテナ荷役方式の導入、活魚出荷、鮮魚輸出等

◎改革計画：H19年9月19日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年9月から開始予定

- ・事業実施者：室蘭漁業協同組合
- ・用 船：未定丸（140トﾝ）

(2) 小樽地区

◎コンセプト：減船による生産体制の合理化、協業化、省エネ・省人・省コスト化、資源管理、地域ブランド化、新製品開発・販路拡大の推進、漁獲物の高鮮度保持等

◎改革計画：H20年6月24日認定

◎「漁業構造再生事業」（3隻減船と新世丸改造）H20年9月計画承認、平成21年2月実施済み

- ・事業実施者：小樽機船漁業協同組合

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21～23年度実施を目指す

- ・事業実施者：小樽機船漁業協同組合
- ・用 船：未定丸（160トﾝ）

(3) 広尾地区

(4) 釧路地区

◎改革計画：H21年度の認定に向け検討中

(5) 稚内地区

4. 賀露地域（鳥取県漁業協同組合）

沖合底びき網

- ◎コンセプト：活魚出荷の比率向上、滅菌海水・シャーベット海水氷の使用、大口径プロペラの導入・省エネ船型等
- ◎改革計画：H20年1月21日認定
- ◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年9月から開始。
 - ・事業実施者：鳥取県漁業協同組合
 - ・用 船：第三生洋丸（95トン）

5. 香住地域（但馬漁業協同組合）

べにずわいかご

- ◎コンセプト：活魚出荷による付加価値向上、資源回復計画の推進、ブランド化の推進等
- ◎改革計画：H20年7月31日認定
- ◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年9月から開始。
 - ・事業実施者：但馬漁業協同組合
 - ・用 船：栄福丸（19トン）べにずわいがに籠

6. 北部太平洋大中型まき網漁業地域

（北部太平洋まき網漁業協同組合連合会）

大中型まき網

（1）大津地区

- ◎コンセプト：HACCP対応型運搬船兼探索船、船団のスリム化（4隻→3隻、46名→41名）、高鮮度魚地元水揚げによる地域活性化等
- ◎改革計画：H20年1月21日認定
- ◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH20年10月から開始。
 - ・事業実施者：北部太平洋まき網漁業協同組合連合会
 - ・用 船：新丸船団：網船（80トン）＋新船（運搬船兼探索船・285トン）
＋運搬船（311トン）

(2) 波崎地区

① 第1船目

◎コンセプト：新たなミニ船団（4隻→2隻、50名→35名）、安全性・居住性確保、省コスト化

◎改革計画：H20年6月11日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」をH21年8月から開始予定。

・事業実施者：はさき漁業協同組合

・用 船：石田丸船団：新船（網船・300トン）＋運搬船兼探索船（315トン）

② 第2船目

◎コンセプト：船団のスリム化（4隻→3隻、47名→39名）、改革型漁船（網船）の導入による安全性・居住性確保、省エネ・省人化、生産コストの削減、高付加価値製品の生産、地域ブランドの確立と販路拡大等を検討。

◎改革計画：H21年6月日認定（予定）

◎「もうかる漁業創設支援事業」をH22年から開始予定。

・事業実施者：はさき漁業協同組合

・用 船：稲荷丸船団：新船（網船・199トン）＋運搬船兼探索船（203トン）＋運搬船（332トン）

(3) 小名浜地区

◎コンセプト：船団のスリム化によるコスト削減、高鮮度品の生産、地域との連携による販路拡大

◎改革計画：H21年度の認定に向け検討中

7. 遠旋組合地域（日本遠洋旋網漁業協同組合）

大中型まき網

①海区併用型操業形態

◎コンセプト：船団のスリム化（5隻→4隻）、改革型漁船（網船）の導入、安全性・居住性確保、操業コスト削減、東海・黄海及び北部太平洋の効率操業

◎改革計画：H20年2月15日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年1月から開始。

・事業実施者：日本遠洋旋網漁業協同組合

・用 船：天王丸船団：網船（新船・81天王丸199トン）
＋灯船・探索・運搬船（新船・38天王丸199トン）
＋運搬船（2隻：339トン、320トン）

8. 石巻地域（石巻市水産振興協議会）

①大中型まき網

◎コンセプト：単船化、省エネ・省人化、操業コスト削減、サバ船内凍結等を検討。

◎改革計画：H20年2月15日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年8月から開始予定。

・事業実施者：宮城県旋網漁業協同組合

・用 船：第二たいよう丸(415トン)

②沖合底びき網

◎コンセプト：省エネ・省コスト船型、操業コスト削減、付加価値向上等を検討

9. 境港地域（（社）境港水産振興協会）

①べにずわいかご

◎コンセプト：省エネ・省コスト化、鮮度保持（シャーベット氷）による付加価値向上、エコラベル取得、地域連携によるPR活動等。

◎改革計画：H20年11月14日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年9月開始予定。

・事業実施者：鳥取県漁業協同組合

・用 船：第五十五吉丸（122トン）

②大中型まき網

③いか釣り

10. 柴山地域（但馬漁業協同組合）

沖合底びき網

◎コンセプト：常設活魚倉の設置・収容法の改善によるズワイガニの高品質化、魚類の高品質化と多様な水揚形態への対応、作業性・安全性の向上、地域ブランドの確立等を検討

◎改革計画：H21年6月中央協議会審査予定

1 1. 浜坂地域（浜坂町漁業協同組合）

沖合底びき網

◎コンセプト：小型化・FRP漁船等の導入による生産コスト削減、省エネ・省人化、作業性・安全性の向上、流通加工分野との連携による高付加価値化等を検討

◎改革計画：H21年6月中央協議会審査予定

1 2. 下関地域（山口県以東機船底曳網漁業協同組合）

沖合底びき網

◎コンセプト：小型化（75t→60t）、省力化漁船、未利用資源利用等を検討

◎改革計画：H21年度の認定に向け検討中

1 3. 静岡県旋網漁業地域（静岡県旋網漁業者協会）

①大中型まき網

◎コンセプト：船団のスリム化（6隻→5隻）、改革型漁船（運搬船）の導入、省エネ・省人化、操船性・安全性・居住性の向上、生産コスト削減、加工原料の安定確保、地域ブランド化・地産地消による地域の活性化。

◎改革計画：H21年3月11日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH23年度実施予定

1 4. 紀伊水道地域（和歌山南漁業協同組合）

中型まき網

◎コンセプト：船団数削減、船団のスリム化（9隻→7隻）、省燃油・省人化等生産コスト削減、資源管理型漁業の推進、鮮度保持規格の統一、地域ブランドの確立、付加価値向上、産地販売所及び量販店を活用した販売体制強化

◎改革計画：H21年3月11日認定

◎「漁業構造再生事業」：船団数削減及び船団スリム化によって9隻をスクラップ（H21年3月実施済）

◎「もうかる漁業創設支援事業（漁船の収益性回復）」実証事業をH21年度7月開始予定

1 5. 気仙沼地域（気仙沼漁業協同組合）

①近海まぐろはえなわ

◎コンセプト：省エネ・省コスト化、高鮮度化等、次世代型近海まぐろ延縄漁業を検討

②遠洋まぐろはえなわ

◎コンセプト：大幅なコスト削減、新たな市場開拓を検討

1 6. 浜田地域（浜田市水産業振興協会）＜休止中＞

①沖合底びき網・・・省エネ・省人化、ブランド化の推進等につき検討

②中型まき網

1 7. 遠洋まぐろ延縄グループ（日本かつお・まぐろ漁業協同組合）

遠洋まぐろはえ縄漁業

◎コンセプト：協業化による効率的操業、省エネ化、漁業者と流通業者との連携、高品質管理体制の導入による高付加価値化

◎改革計画：H21年度の認定に向け検討中

1 8. 全国さんま棒受網漁業地域（全国さんま棒受網漁業協同組合）

さんま棒受網漁業

◎LED集魚灯導入による省エネ対策、新たな製品開発等販路開拓等を検討

1 9. 宮城県塩釜地域（社団法人日本トロール底魚協会）

遠洋底びき漁業（遠洋トロール漁業）

◎コンセプト：インドネシア200海里水域における新規漁場開発及び同水域で漁獲される未利用魚種の市場性調査

◎改革計画：H21年7月7日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年8月開始予定。

・事業実施者：日本トロール底魚協会

・用船：第六十八福吉丸（401トン）

20. 山川地域（社団法人海外まき網漁業協会）

大中型まき網漁業（海外まき網漁業）

◎コンセプト：外地進出による国際漁場における競争力強化及び鯉節原料の
安定供給確保

◎改革計画：H21年7月7日認定

◎「もうかる漁業創設支援事業」実証事業をH21年10月開始予定。

- ・事業実施者：山川町漁業協同組合
- ・用 船：未定丸（349トﾝ）

21. 五島中型まき網地域（奈留町漁業協同組合）

中型まき網漁業

◎コンセプト：船団縮小による省エネ省人化、流通加工分野との協力による高付加
価値化、関係漁業（養殖業者等）との連携による地域活性化

◎改革計画：H21年度の認定に向け検討中

以上